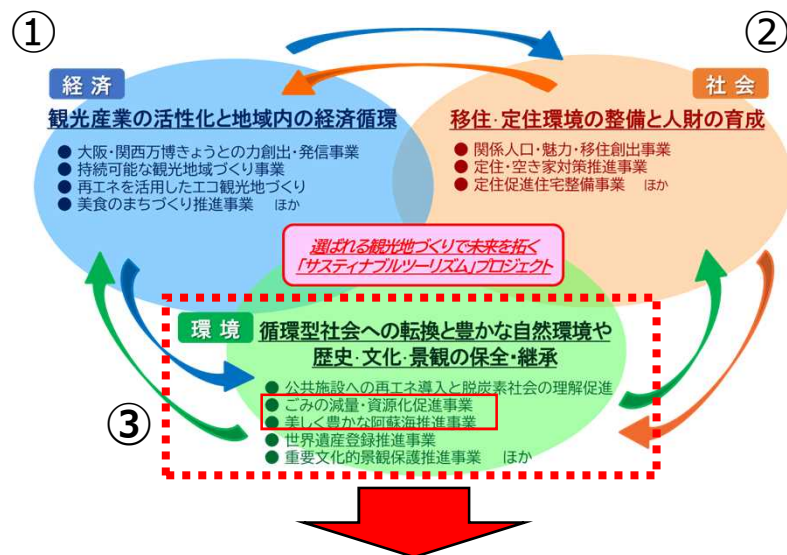


SDGs推進事業



事業の概要

【事業の目的】

本市がR5.8月に策定したSDGs未来都市計画に基づき、2030年のあるべき姿「共に創る みんなが活躍する 豊かなまち“みやづ”」の実現に向けて、ごみの減量化・資源化の推進、脱炭素社会の構築、豊かな自然環境・良好な生活環境の維持、観光を基軸とした持続的なまちの発展を推し進めているところ。

★SDGs推進のための三側面（経済、社会、環境）の取組

※右図参照

- ①経済：観光産業を核とした、地域経済力の高いまち
- ②社会：一人ひとりが地域に愛着を持ち、地域力が高いまち
- ③環境：環境にやさしい観光地として世界に認識されているまち

事業の実施状況（三側面のうち③をピックアップ）

- ◆阿蘇海の日事業「阿蘇海フェスタ」の開催 主催：宮津市（共催：与謝野町）参加者：約400名
・阿蘇海こども会議取組発表（吉津小学校・海洋高等学校の共同発表）、講演会、体験会（水中ドローン操作等）やデロリアン（ごみを燃料にして走る車）の展示を実施
- ◆阿蘇海清掃活動及びみんなでカキ殻拾うDayの実施
（NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）等と連携して計6回実施）
- ◆ごみの減量化及び資源化に向けた実証事業の実施・調査等
・市内宿泊施設における分別用ごみ箱設置実証事業の実施
・資源回収拠点の設置に向けた市内小中学校及び資源回収事業者との意見交換
・阿蘇海フェスタにおける環境教育の実施
「環境すごろく」：14組43人、「循環資源粘土体験」：52人
・高校、大学等の環境やSDGsをテーマにしたフィールドワークへの協力（京都工芸繊維大学、同志社大学、宮津天橋高校）

事業費（うち交付金充当額）

12,002千円（6,000千円）



【デロリアン】



【阿蘇海フェスタ】

事業の効果

- ・SDGsの達成に向けて優れた取組を提案する都市として、「SDGs未来都市」に選定（R5.5.19）
- ・三側面の取組の一つである阿蘇海の環境を保全するとともに、阿蘇海に親しみ、美しく豊かな阿蘇海を次世代に継承する意識の醸成が図られた。
- ・ごみの再資源化率の向上 R5目標：23.0% ⇒ R5実績：20.4%